

水の大切さ

横浜市立南戸塚中学校

三年 實方 瑚菜

皆さん、どうして人間には水が必要なのかを知っていますか。それは、人間の体の半分以上が水でできていて、吸収した栄養を水にとかして体全体に行きわたらせているからです。また、体内を循環する水分のほかに体外に排出される水があります。人間が生きていく上で欠かせない「呼吸」も、体から水分を排出し続ける生理現象です。水は、人間が体の機能を維持するための、生命に関わる重要事項となっているのです。

現在、世界人口の四十パーセント以上にあたる三十六億人が水不足に悩まされており、今後とも上昇すると予測されています。水不足の原因は主に三つあります。

一つ目の原因は「水の使用量が増えていること」です。その背景には人口増加と産業発展があります。世界の総

人口は約七十三億人から九十七億人に増加するといわれています。人口が増えるほど水の使用量は増え、不足の事態は悪化していく一方となります。また水は工業や農業にも利用されており、そうして使用された水は、河川や海、地下水の汚染にもつながっているのです。限りある水資源が汚染されると、使用できる水はさらに少なくなっていくきます。

二つ目の原因は「水を効率よく使えていないこと」です。実際のところ、水の利用可能量は異常気象や降水量の変動などに左右され、とても不安定であり、この不安定さを促進しているのが地球温暖化を原因とする気候変動です。温暖化は降水量だけでなく、雨の強度や頻度も変化させています。そのため、降水パターンの変動はますます激しくなり、季節ごとや月ごとで見ると、水不足に悩む地域が出てきやすくなってしまうのです。

三つ目の原因は「水源が守られていないこと」です。都市化による乱開発などが進むことによって、水田が消失したりするなど、水源が破壊されています。また、日本には浄水処理が存在しますが、世界にはそうしたインフラが整っていない地域も多く、一度汚染された水は汚

染されたまま使用せざるを得なくなり、安全できれいな水は不足していく一方なのです。

水不足の原因に対して私たちにできることは、「水の使用量を減らすこと」「水を効率よく使うこと」「水源を守ること」です。例えば、料理、歯みがき、食器洗い、トイレ、お風呂、洗濯など生活のあらゆるところで使用する水を、最低限に抑え、節水を心がけることです。流しっぱなしは絶対にしない、食器洗いや洗顔は水をためて使用する、節水コマを使うなど工夫はたくさんできます。水不足の原因はどれも、私たち一人一人が日々の生活の中で少しずつ意識すれば対策につながるものばかりです。一つ一つは小さな取組かもしれませんが、みんなが取り組めば、大きな効果を得ることができます。私も日々の生活の中で、なるべく節水することを心がけて世界で水不足に悩む人々が少しでも減ったらいと心から思います。